

第4回栃木県経済同友会秋祭り

秋祭り実行委員会 委員長 上野 通子

(文星国際交流センター センター長)



日時：平成 24 年 11 月 24 日（土）

会場：宇都宮市鬼怒川河川敷（道場宿緑地）

秋祭り実行委員会（委員長 上野通子）は、昨年に引き続き、「とちぎ熱気球インターナショナルチャンピオンシップ」を盛り上げるために、「第 4 回栃木県経済同友会秋祭り」を同時開催し、同友会独自のイベントを実施した。5 日間で約 17 万人を集めた大会期間中、秋祭りを開催した 24 日は実に 11 万人もの集客を記録した。

1. 主なイベント内容

(1) 同友会の出展

- ① しもつけ鍋
- ② もちつき大会
- ③ ステージイベント
- ④ バルーンアート教室
- ⑤ どうぶつしょうぎ
（子供将棋教室）
- ⑥ ポップコーン

(2) 会員企業等の出展

企業PR、物品・飲食の販売



2. 秋祭り当日

(1) スタッフミーティング

当日は、6:00 過ぎから随時準備を開始し、7:30 に上野委員長を囲んでスタッフミーティングを実施した。上野委員長のもと、スタッフ全員で、大会を盛り上げてゆく意思統一を図った。なお、当日の参加スタッフ人数は130名を超えた。

(2) 小学生の熱気球搭乗体験

秋祭り事業の一環で実施した絵画コンクール『熱気球のある風景』において最優秀賞を受賞した芳賀町立芳賀南小学校の大津瑠南さんは、早朝7:00に、約60分間にもおよぶ熱気球の搭乗体験を楽しんだ。



(3) ステージオープニングイベント

ステージイベントに先立ち、板橋筆頭代表理事、上野委員長より挨拶をいただいた。

【板橋筆頭代表理事挨拶】



「栃木県経済同友会では、この熱気球大会を、栃木の観光の宝の1つにするために、3年前から「秋祭り」を開催しております。昨年に引き続き今年も、このあと始まりますステージイベントのほか、会員自らによる創作「しもつけ鍋」と餅つき大会などを行い、大会を盛り上げてまいります。ぜひ、ステージイベント同様に楽しんでいただければ幸いです。今年も、餅つき大会で使用するもち

米の地産地消を実体験するために、春には多くの会員で田植えを実施し、先日稲刈りによる収穫を行いました。また、次世代の子供たちに熱気球の魅力を理解してもらい、将来にわたり子供たちの原風景として記憶され、ひいてはこの熱気球大会が将来しっかりと栃木の地に根付くことを期待し、栃木県内の小学校全学年による絵画コンクール「熱気球のある風景」を実施し、数多くの作品の応募をいただきました。最優秀賞作品は、栃木県経済同友会の秋祭りのポスターに採用させていただきました。この後12時から、表彰式をとりおこないます。このように栃木県経済同友会では、数多くの会員が一丸となって、この熱気球大会を盛り上げるために活動しているところです。ご来場の皆様も、この熱気球大会が栃木の観光の宝になるため、ぜひ来年以降もお引立いただければ幸いです。」

【上野委員長挨拶】



「栃木県経済同友会の秋祭りは、今年で4回目となり、今回で最後となります。当初は50名程度のスタッフでこの大会を盛り上げてきましたが、今年は130名を超えるスタッフのご協力のもと、本日を迎えることができました。

餅つき大会のため、皆で協力して行った田植えや稲刈り、最初は応募の少なかった絵画コンクールでしたが、今年は450点もの応募となり、かなり浸透してきたことなど、いろいろなことが思い出されます。

今後は、同友会が中心になってきたことを、地元清原地区の方々へ、うまくバトンタッチをしてゆき、この大会が今後も成長し続けることを心から願っております。」

(4) 絵画コンクール表彰式

ステージ上で、絵画コンクール『熱気球のある風景』の表彰式を実施し、入賞者には板橋筆頭代表理事から、表彰状（熱気球の形をした栃木県経済同友会オリジナルの表彰状）と記念品（図書カード）が贈られた。



【表彰式の様子】

(5) ステージイベント

責任者である高本寛氏（エヌ・ティ・ティ・ドコモ栃木支店）、野田和郎氏（㈱ハヤブサドットコム）のお力をお借りして、盛大なステージイベントを実施することができた。ステージイベント会場前には、常に、多くの人で賑わっていた。



【クリオーネのバルーンパフォーマンス】



【作新大学 チアリーダー部】



【華麗なキッズダンス】



【お笑いライブ 猫ひろし】



【宇都宮ブリッツェンの選手】



【プロスポーツ 4 チームのラジオ公開録音】



【シンガーソングライターLilu (リル)】



【えりのあ ライブ】



【お笑いライブ カンカン】



【冷やし中華始めました♪でおなじみの AMEMIYA】



【2012 キングオブコントのチャンピオンで全国的にも人気急上昇中のバイきんぐ】



【ステージ前には溢れんばかりの観客】



【とちおとめ 25】



【ステージ前にはミヤリーも登場】

(6) しもつけ鍋

責任者である膝附氏（榊雅秀殿総本店）の指揮のもと、地元の安全安心な食材をつかった栃木県経済同友会オリジナルの鍋『しもつけ鍋』をワンコイン募金にて配布した。

大鍋で作った『しもつけ鍋』は、約 5 回（約 1000 食）の配布を行い、各回とも長蛇の列ができ、約 10 分程度で配布が終了するほど、大盛況であった。



【チームワーク抜群のスタッフ】

(7) もちつき大会

責任者である加藤氏（北関東総合警備保障㈱）の指揮のもと、10臼（約800食）のもちを会員らがつき、来場客に配布した。毎回長蛇の列ができテント前は大いに賑わった。



(8) バルーンアート教室

責任者である益子氏（㈱花のギフト社）、一楽氏（㈱スマイルスタッフ）の指揮のもと、バルーンアート用風船で犬、花、剣、弓矢、ピカチュウやプーさんなどのキャラクター作品を無料で配布を行った。また、実際にお客様自身に作っていただき、子供から大人まで幅広く楽しんでいただいた。



【子どもに大人気のバルーンアート スタッフも大忙し】

(9) どうぶつしょうぎ

とちぎ未来大使で女流棋士である北尾まどか氏による『どうぶつしょうぎ』（こども将棋教室）が行われ、テント前は終日多くの子供たちで賑わった。

北尾まどか氏は将棋の普及のため、各地で『どうぶつしょうぎ』教室を行っている。「去年よりも参加者が多く、多くの子どもたちの笑顔を見ることができ素晴らしい一日となった」と振り返った。



【真剣なまなざしでしょうぎに挑む子どもたち】

(10)ポップコーン

㈱太陽警備保障の高山社長のお力添えで、来場客にポップコーンをワンコイン募金にて配布した。



(10) 企業出展（出店）



【(株)雅秀殿総本店のブース】



【(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ栃木支店のブース】



【(株)カナメのブース】



【(株)花のギフト社のブース】



【焼そばキング (株)オニックスジャパン のブース】

(11) 係留体験



【今年製作した同友会オリジナルの気球による係留体験】

(12) マスコミの取材・出演



【11月20日の記者会見の様子】



【11月16日 Radio Berry に
生出演する上野委員長と内藤副委員長】